

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

＜学校教育目標＞

これからの社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成

めざす児童生徒像

敦賀市「知・徳・体」令和プラン

知：学びを通して考える力
徳：内面を豊かにする力
体：たくましく生きる力
一人と協働する力

大きくなろう (広く豊かな心と知性のある子ども)

強くなろう (強靱な身体と精神を持つ子ども)

幸福になろう (夢や希望を持ち、その実現に向かう子ども)

重点目標

具体的な取組

成果指標

未来に向けて協働し 共生する社会力の育成

- ◎互いを尊重し高め合う集団づくり
◎困難に折れないしなやかな強い心の育成

◇学校サポートプログラム実践校としての取組
＜過去2年の取組の結果＞
・ソーシャルスキルに関する5項目の質問に対する「そう思う」回答数(SASA2020・小学校は3校統合)

Table with 3 columns: 質問内容, 小学校, 中学校. Rows include questions about listening, communication, and decision-making.

・レジリエンスに関する3項目の質問に対する「そう思う」回答数(SASA2020・小学校は3校統合)

Table with 3 columns: 質問内容, 小学校, 中学校. Rows include questions about self-esteem and problem-solving.

- ・(小)◎誰の発言でも受け入れる(誰もが自由に発言できる)雰囲気高める取組が必要
・(中)◎発達段階に応じた自己肯定感と粘り強さを高める取組が必要
・(共通)「集団と自分の関係性」「自分の心の強さ」を総合的に高めよりよい学校文化を築く。
・(共通) 学校生活の安定を基盤としたキャリア教育の充実により将来の目標や積極的な人生観を培う

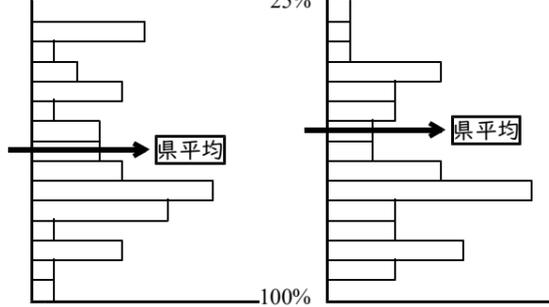
- ・小中9年間の一貫したポジティブ教育の推進
・学習した見方、考え方、行動を実際の学校生活に活かし、子ども自身がPDCA評価により身につける取組の推進(ピア・サポートを取り入れた行事計画)
・保護者、地域の理解を進め、家庭、地域ぐるみでポジティブ教育への協力を推進

- ◎ SASA2021 でのソーシャルスキル及びレジリエンスに関わる8項目の質問で、「そう思う」回答の全体平均小中ともに10%以上の伸び。
◎ 生活アンケート「将来に夢や希望がある」で「そう思う」回答80%以上

未来につながる 総合的な学力の充実

- ◎ICTを活用した主体的、創造的な学びの実践
◎知識・理解・技能の確実な定着

◇SASA2020から見た課題 → 二極化への対応
＜総合的な正答率の正答率分布傾向から＞
＜小学校(3校合算)＞ 25% ＜中学校＞

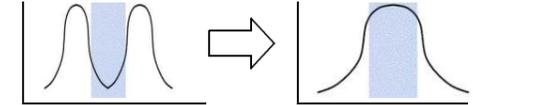


平均値が最多数層となっていない=二極化
→授業でのターゲットが絞りにくい=中核的な課題
→下位層の底上げに資する具体的手立て
→各学級の傾向、特徴に応じた向上策の工夫
→個々の特性、能力、興味関心に応じた課題提供
→上位層に向けた発展的手立て

小・中各学年の発達段階に応じた、かつ小中一貫した学力向上への取組を日常の学習活動で展開する。

- ・朝学習、家庭学習を連動した5教科の基礎コンテストを毎年実施→基礎的基本的学力の定着
・習熟度や関心、意欲に応じた授業展開の工夫、タブレット等ICT機器を活用した理解しやすく参加しやすい授業展開と個に応じた発展的課題の設定(引き出す・楽しむ教育へのアプローチ)
・リーディングスキルテストに基づく、教科書の記述内容が「分かる」読み方の指導、読み取り力の向上を狙った基礎(朝)学習の継続と読書の推奨

- ◎ SASA2021 での正答率県平均レベルを維持
◎ 各学力調査での正答率分布二極化パターンを解消



未来を生き抜く 心身の育成と健康の増進

- ◎いのちを守り暮らし方への共感
◎「明日も登校したい」安心・安全な学校づくり

◇心の健康を保障するために ※「小」は3校合算

Table with 5 columns: 項目年度, 不登校の新規発生件数, いじめ解消率, 学校が楽しい, 将来に夢や目標がある. Rows for 2020 elementary and middle schools.

◎ SNS ルールの遵守 (R2 中学校調べ)
「守っている」=74% → SNS に起因するトラブル=0

- ・安全・安心で楽しい学級づくりを推進する必要
・不登校、いじめの芽を見逃さない情報収集と教員の適切かつ十分な指導支援が必要
・主体的であるための見通し(将来の目標)を持つ必要

- ・ピア・サポートを基本とした多様な集団づくりの推進
・レジリエンス強化を基盤とした「折れない心」の育成
・多面的な調査・支援体制の維持向上(いじめ調査、教育相談、個人懇談、SCの活用、教員研修等々)
・SNSに関する自己管理力の向上をめざす指導展開
・時機と発達段階に応じた人権教育の推進

◇身体を健康を保障するために
◎校内での怪我による病院受診件数の推移(のべ)

Table with 4 columns: 年度, H30, R1, R2. Rows for elementary and middle schools.

◎福井県体力テストの傾向 ※小学校は3校合算、H30、R1は未集計
R2年度は未実施→例年小・中とも持久走・ボール投げが弱い傾向

- ・学校生活、日常生活での安全確認指導を強化
・体力面で学年の特性に応じた弱点強化を意識した体育実技授業の実践と自己安全管理指導の強化

- ◎いじめ解消率100%、不登校新規発生ゼロを維持
◎「学校が楽しい」→小：維持 中：90%以上
「将来に夢や目標がある」→小中とも80%以上
◎体力テストでの弱点種目の改善(県平均レベル到達)
◎校内での怪我による病院受診数小中各10件以下
◎SNSに起因する生徒間のトラブル発生ゼロを維持

地域と共に進める 未来に開かれた学校づくり

- ◎地域の教育資産、自然資産の活用
◎人的資源の発掘と連携による教育活動の充実

◇双方向的で良好な関係を形成し推進するために

- ①学校からの情報提供の充実(学校だより、HP)
・「学校からの情報提供は十分か」→肯定的回答 89%
②「地域と進める体験事業」の取組
・旧小学校区ごとの取組を活かした新しい体験活動の創設と充実
・中学校の体験事業とコラボレーションした活動の試行と定着

- ・学校だより、HPでの情報提供を強化継続
・つるが祭り山車巡行、恵比須大黒綱引きへの生徒参画の継続と小学生の参加
・ボランティア精神の高揚を意図した道徳授業の強化

◇小中一貫校としての地域との連携推進

- ・小学生、中学生、地域の大人の三者が、共通の目標においてそれぞれの立場と役割を果たしながら活動する機会を創出

- ・地域の人材交流、文化継承の維持発展と、小中一貫校として地域との新しい関わりを協議し実践する。(家庭・地域・学校協議会と連携)
・小学生、中学生の親和的で発展的な関わりを推進(ピア・サポート活動の一環として)

- ◎学校だより発行年間10回以上、毎週HP更新
◎地域と進める体験活動の満足度目標
児童・生徒・保護者とも90%以上

業務改善のための取組

- ◎校内LANの活用、議題の精選等による情報伝達、事務処理の効率化と会議の縮減
◎業務の見直しと精選により具体的な業務削減、意識改革に基づく業務と研修の分別を進める。
◎日課時程、部活動時間の見直し、部活動顧問の複数化による放課後の授業準備時間の確保
◎学校行事、学年行事等の縮減と統合、選択と集中、評価方法の改善と改革による業務の高効率化

→超過勤務80時間未満の100%達成

- ・ピア・サポート授業実践→1,2年各学級年間8時間
- ・現職教育→年間5回　・小中合同研修1回
- ・学校生活全体でのピア・サポート実践の取組

◎ SNSルールの遵守状況（R1年度：本人回答）

1年生：76%	2年生：74%	3年生：73%
---------	---------	---------